



シーホネンス

前を向いて変わり続けていく

笑顔を届けるべく精進

代表取締役社長 増本 龍樹

新しい年を健やかに迎えられますことに感謝し、謹んでお慶び申し上げます。

2020年は、年初における新型コロナウイルスの世界的な流行を発端に、全世界で経済のみならず私どもの生活自体が大きく変化を強いられた年でありました。

医療業界においても、厚生労働省の補正予算をはじめ、診療報酬における臨時措置や各自治体独

自の補助金・助成金など医療機関に対する支援がされていますが、昨年10月の社会保障審議会医療保険部会では、「医療費は前年同期に比べて4月から6月はそれぞれ8・8%、11・9%、12・4%となった」と報告されています。また、日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会の3団

響はまだまだ続くことが予想されます。医療機関の減収に関しては、社会全体の自粛などにより患者数が減少したことが直接の影響要因と考えられますが、生活様式自体の変化により治療や受診行動自体の変化も考えられ、背景には医療に対する社会のニーズ

生活が元に戻っていくのは更に2年ほどかかるとのこと、やはり社会全体の行動様式が以前の形に近づいていくには長い時間がかかると思われます。弊社におきましては、こうした厳しい中でも昨年9月に新製品を発売し、ご好評をいただいているところですが、新製品に限らず従来のベッドの機能やリフト等移乗機器においても、その有効性をお客様から実感させられた年でもありました。新型コロナウイルスにより身体接触が懸念される医療現場において、弊社ベ

体による発表では、「新型コロナウイルス感染症による患者減・手術件数減」などは、5月に底を打ち、6月以降は改善しているが、依然として厳しい状況」とも言われており、医療機関の経営に対する新型コロナウイルスの影響

とが影響しているのではないかと思われま。新型コロナウイルスの終息に関して、米国の一部の専門家がワクチンの普及を前提とし、本年11月頃にウイルスが衰退し統制されるという見出しを出していますが、全世界で

日本医療法人協会の3団体が影響しているのではないかと思われま。新型コロナウイルスの終息に関して、米国の一部の専門家

が、辛丑とは転換期を示唆する干支ではないかと思われま。大変な時代においても前を向いて変わり続けていくために、引き続き「お役に立つメーカー・シーホネンス」として医療に関わる全ての人に笑顔をお届けるべく精進してまいります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。